

入居見込み確認書

令和 年 月 日

青 梅 市 長 殿

住所

氏名

宅地建物取引業の免許番号

()第 号

連絡担当者

電話番号

私（当社）が売買取引を仲介した下記の家屋については、現在のところ当該取引の買主が住民票の転入手続を済ませていない状態にありますが、当該取引時点において、当該取引の買主より、当該取引後に当該家屋を自己の住宅の用に供する意向を有することについて下記のとおり確認しておりますので、その内容をここに証します。

記

所 在 地	青梅市	番地
家 屋 番 号	番	
入居予定年月日	令和	年 月 日
現住家屋の処分方法等	1. 売却 2. 賃貸 3. 借家・社宅等 4. その他 ()	
入居が登記の後になる理由		

なお、証明書交付後、この入居見込み確認書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。

(買主による署名)

氏 名

備 考

- 1 本様式は、宅地建物取引業者が、買主である個人の依頼を受けて家屋の取得に係る取引の代理または媒介をした場合において、当該宅地建物取引業者が記入すること。ただし、「買主による署名」欄のみ、宅地建物取引業者の求めに応じて当該買主が署名すること。
- 2 「所在地」および「家屋番号」の欄には、当該家屋の登記簿に記載された所在地および家屋番号を記載すること。
- 3 「入居予定年月日」の欄には、当該家屋への当該買主の入居予定年月日を記載すること。
- 4 「現住家屋の処分方法等」の欄には、当該買主が現在居住している家屋の処分方法等を記載すること。
- 5 「入居が登記の後になる理由」の欄には、当該取引の買主の入居が登記の後になる理由を具体的に記載すること。